

## 「埼玉発世界行き」帰国奨学生に聞きました！

平成30年度 高校生留学コース F.Fさん アメリカ

### Q1 なぜ、海外で学ぼうと思ったのですか。

きっかけは中学校1年生のときに行った1ヵ月のホームステイでした。そのときにもっと英語が喋れればコミュニケーションの幅も広がり視野も広くなると感じ、高校で1年間の留学に挑戦することを考え始めました。さらに、挑戦することで問題と向き合う力や自分への自信も得られるのではないかと思い留学への関心が高まりました。

### Q2 留学先を決定する際に一番こだわった点は何ですか。

私は団体のプログラムで行ったので一年間の留学先はアメリカかカナダでした。そこではカナダは多国籍で英語が母国語じゃない留学生も多いためサポートも手厚いと聞きましたが、私は自由さを重視してアメリカを選びました。また、せっかく留学に行くのだからどっぷり英語に浸かりたいという思いもあり、他の留学生が少ないアメリカにしました。



### Q3 留学先でもっとも苦労したことは何でしたか、またどのように乗り越えましたか。

苦労したのは発音です。自分ではっきり言ったつもりでも相手には伝わっておらず、聞き返されるという経験が少なからずありました。一度聞き返されると自信をなくしてしまい話すのが嫌になったりもしましたが、このままでは成長できないと気づき、「日本人なんだから多少はしょうがない」と割り切って積極的に話すようにしました。そして話していくうちに発音も改善されたのか、だんだんと聞き返されることも減っていったと感じました。

### Q4 留学してよかったと思うことの中で、一番そう思うのはどのようなことですか。

自分に自信がついたことです。友達と話していると、アメリカの高校生は自分自身のことが好きで誇りをもっているのだなと感じることが多々あり、私も見習いたいと思っていました。そしてそのような環境に一年間身を置いたことで、私も自然と自分の好きなどところを見つけ何事もポジティブに考えられるようになりました。また、帰国した後大学受験勉強で辛いときもありましたが、留学中の自分の努力を認め一年間頑張ってきたのだから大丈夫と留学の経験自体も自信につながりました。



**Q5** 留学前に知りたかったと思うことや、やっておけばよかった！と後悔したことがあれば教えてください。

しいて言えば、高校生の場合現地の高校の授業のレベルを時間割を組む前に確認できると良いと思います。私は前期に取った数学と化学は簡単でつまらなかったのですが、先生とカウンセラーさんに言って後期から難しいものに変えてもらうということがありました。でも、ある程度のことは現地で解決できると思うし、準備していなかったことに対して対応しようとするのが留学の醍醐味でもあると思うので、あまり準備を完璧にしていかなきゃと気負う必要はないと思います。

**Q6** これから留学される方に、アドバイスがあればお願いします。

アメリカでは、自分で行動を起こすことが自分を成長させる一番の方法だと思います。言葉が不自由な中で周りのリズムに合わせて生活するというのは決して簡単なことではないし、ストレスや悩みが出てくるのは当たり前だと思います。そういうときに自己嫌悪に陥らないでいかに切り替えられるかが大事だと思うので、自分に合った方法で少しずつでも悩みを解消していけるといいと思います。また、笑顔が人を明るくするのは世界共通です。笑顔でいると自然と人も集まってくると思うので、ぜひ意識してみてください。

